

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートのご自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	経済学部
大項目	4 教育研究組織
中項目	
小項目	4.0.1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものである
要素	教育研究組織の編制原理 理念・目的との適合性 学術の進展や社会の要請との適合性 (KG1) 研究活動の状況
小項目	4.0.2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 基礎ゼミ教育を含めた導入教育の充実を図るために、「教育改革推進委員会」の下に、経済学専門部会、経済・経済学基礎部会、大学院教育部会に加えて、新たに初年次教育部会を設け、カリキュラム改革を提案する。	→初年次教育部会からのカリキュラム改革提案。	C	B	A		

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

☆	<p>目標1 「教育研究組織」の編制原理の大本としての「新カリキュラム」は、2012年度より実施する運びとなり、「教育改革推進委員会」の基礎教育部会による「初年次教育のあり方の検討」、および専門教育部会による「学習レベルの体系化」は、ともにその機能を果たしたといえる。今後は目標達成度を適切に評価したうえで、「教育改革推進委員会」(2012年度よりこの旧委員会は「専門教育委員会」と「基礎教育委員会」とに二分されている)において検証を始めるとともに、「教育研究組織」の編成原理を明確にしていく必要がある。</p>
備考	